

報道関係者各位(企業情報)

2013年(平成25年)5月16日

## 神奈川の力を結集した東日本大震災への取り組みがスタート 「かながわ避難者支援会議」メンバーに 県内企業で唯一 / 震災避難者を効果的に支援

株式会社ファンケル(本社・横浜市中区、代表取締役社長執行役員・宮島和美)は、神奈川県が県内に避難している東日本大震災の被災者への効果的な支援を目的に、5月15日に新設した「かながわ避難者支援会議」のメンバーに選ばれました。これまで当社が行ってきた東日本大震災の被災者への継続的な支援とノウハウが評価されたもので、県内の民間企業では唯一の選任です(メンバーは裏面参照)。

今後、神奈川県主催の避難者相談会に協力していくほか、民間企業の立場を活かしたさまざまなサービスを展開して、避難者をサポートしてまいります。



5月15日開催の第一回会合の様子  
(当社からCSR推進事務局の白杵ひろみ事務局長が出席)

神奈川県には、5月15日現在で東日本大震災の被災地から約2,500人の方が避難しており、最も多い時期からは500人近く減少しています。一方で避難生活の長期化で、就労や子育てなど問題は多様化、深刻化しており、オーダーメイドで対応する必要が生じています。

こうしたことを受け、神奈川県では、避難者を支援する関係団体や県内市町村、避難元自治体など約50の団体などで構成する「かながわ避難者支援会議」を新たに発足させ、神奈川県の力を結集した効果的な支援を行うことになりました。

ファンケルでは2011年5月から従業員を被災地などにボランティアで派遣する「美と健康のSave the 東北プロジェクト」をスタートさせ、今年3月末までに、メイクアップやハンドマッサージ、青汁の試飲などのサービスを計74回開催、累計で476人の従業員が参加いたしました。この中には、被災地から神奈川県に避難された方へのボランティアも含まれます。

今回、こうした取り組みが評価され、神奈川県内の民間企業で唯一、「かながわ避難者支援会議」のメンバーに選ばれました。今後は、神奈川県が藤沢市や横須賀市などで主催する避難者相談会にて、栄養相談やハンドマッサージなどを行います。こうした従来の取り組みに加え、支援会議を通じた活動や支援会議のメンバーとの情報交換や連携をより深めることで、避難者へ効果的できめ細やかな支援に繋げる考えです。

(株)ファンケル

本社:神奈川県横浜市中区山下町89-1

代表取締役社長執行役員:宮島 和美

設立:1981年8月

本件に関するお問い合わせ

IR・広報グループ 三澤敬之・油井紀理子:045-226-1230

### 参考1：「かながわ避難者支援会議」構成団体

1. 関係団体(法人、任意団体、企業、大学等)※あいうえお順
  - ・SDCハートマミーズ
  - ・神奈川県生活協同組合連合会
  - ・神奈川県立保健福祉大学
  - ・株式会社パソナ(ふくしま就職応援センター)
  - ・株式会社ファンケル
  - ・公益財団法人オリックス財団
  - ・公益社団法人神奈川県社会福祉士会
  - ・社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
  - ・ソクラテスプロジェクト
  - ・東京地方税理士会
  - ・特定非営利活動法人神奈川災害ボランティアネットワーク
  - ・日本労働者協同組合連合会センター事業団神奈川事業本部  
(東日本大震災 支援・情報ステーション)
  - ・守りたい・子ども未来プロジェクト実行委員会
  - ・横浜市立大学
  - ・横浜弁護士会
2. 行政
  - ・岩手県(復興局生活再建課相談支援担当)
  - ・宮城県(震災復興・企画部震災復興推進課)
  - ・福島県(生活環境部避難者支援課)
  - ・神奈川県内の市町村
  - ・神奈川県

### 参考2：第1回神奈川県主催の避難者相談会「東北きずなサロンinふじさわ」の概要

1. 日時 平成25年5月26日(日) 11時から14時
2. 場所 明治市民センター・公民館  
神奈川県藤沢市辻堂新町1-11-23(JR辻堂駅北口徒歩5分)
3. 当社がサポートする内容
  - ◎栄養講座(神奈川県栄養士会との協業)
  - ◎昼食作り
  - ◎ハンドマッサージ
  - ◎青汁の試飲

など

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ファンケル 社長室 IR・広報グループ 担当:三澤 敬之・油井 紀理子

TEL:045-226-1230 FAX:045-226-1202